

課題改善カリキュラム【 社会科 】練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校 2018. 8. 31

課題		研究テーマ	
資料から読み取り、自分の考えを述べることを苦手とする。		児童・生徒の関心を引き出しつつ、資料を読み取る力を育成するための指導の工夫について	
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点
中学校	3年	・「日本の年代別投票率」や「世界の国別投票率」など、現代社会(日本)の課題を読み取ることに加えて、どのような対策をすればよいか、自分の考えをもてるような資料を用いる。	・多面的・多角的に諸資料を考察するために、個人で読み取ったことや考えたことを発表し合いクラスで共有する。
	2年	・毎時間の中で様々な資料を読み取る活動に継続的に取り組み、資料活用能力を高められるようにする。気づいたことを幅広く記述させ、資料読み取りに対する抵抗をなくしていく。	・少人数グループやクラスで読み取ったことの発表を行い、自分になかった視点や資料の違った側面に気づかせる。
	1年	・授業の中で、いろいろな資料を提示し、その資料から常にいろいろなことを読み取らせ、そのことから考えられることを、発表させる。	・授業で資料を読み取る時に、いろいろな人の意見を参考にできるように、数人のグループで意見交換を必ず行う場面を設定する。
小学校	6年	・資料の読み取りでは、グラフや図など、複数の資料から読み取れるポイントについて確認する。	・複数の資料を比較して見たり、合わせて見たりすることで、自分の考えをもたせる。
	5年	・資料を読み取る際に、見て分かることと自分の考えを区別して表現させる。	・自分と友達の考えの同じ点や違う点について比較して考えさせる。
	4年 3年	・児童の興味関心を高めるための資料の提示を工夫する。 ・資料の読み取りは、写真や絵などから読み取るポイントについて確認する。	・児童にとって、身近で具体的な資料を扱い、地域の社会的事象を考えさせる。 ・資料を読み取る視点「いつ、どこで」「人、もの、こと」「広がり」「数量」「比べる」「つなげる」等押さえる。